



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社

コード番号 5476 URL http://www.koshuha.co.jp

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 湖東 彰弘 TEL 03-5687-6025

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	9,867	△1.8	550	203.2	592	187.4	543	69.4
27年3月期第1四半期	10,045	8.7	181	111.7	206	147.8	320	258.9

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 585百万円 (68.6%) 27年3月期第1四半期 346百万円 (258.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.71	ー
27年3月期第1四半期	2.19	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	41,119	18,951	46.1	129.28
27年3月期	40,882	18,659	45.6	127.29

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 18,951百万円 27年3月期 18,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	0.00	ー	2.00	2.00
28年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
28年3月期(予想)	ー	ー	ー	ー	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,620	△4.7	740	82.6	780	84.6	640	7.4	4.37
通期	41,650	2.1	1,450	16.1	1,500	12.6	1,280	△8.4	8.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

詳細は添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は添付資料の3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	146,876,174株	27年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	280,459株	27年3月期	279,959株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	146,595,940株	27年3月期1Q	146,601,835株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 第1四半期決算概要	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の定着による企業収益の拡大や株高を背景として、設備投資マインドや雇用情勢の改善が進んでいるものの、国内自動車生産台数が前年割れの状況で推移していることや、鉄鋼業界において4～6月の粗鋼生産量が2,589.1万トンと前年同期比6.4%減少している等、必ずしも安定した成長を遂げるまでには至っておりません。

こうした中で、当第1四半期連結累計期間の業績は売上高9,867百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益550百万円（前年同期比203.2%増）、経常利益592百万円（前年同期比187.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益543百万円（前年同期比69.4%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

〔特殊鋼〕

売上高については、ほぼ前年度並みの7,268百万円（前年同期比0.5%減）となりました。一方、損益面では、重油等の原燃料価格の下落や、コスト改善、円安による輸出価格の改善等により、営業利益は416百万円（前年同期比416.3%増）となりました。

〔鑄鉄〕

建設機械及び自動車向けを中心に、売上数量が減少したため、売上高は2,083百万円（前年同期比5.5%減）となりました。一方、損益面では、原燃料価格の下落やコスト改善等により、営業利益は115百万円（前年同期比33.4%増）となりました。

〔金型・工具〕

自動車向けの需要が減少したことから、売上高は515百万円（前年同期比3.3%減）となりました。一方、損益面では経費減少等もあり、営業利益は18百万円（前年同期比31.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加244百万円、受取手形及び売掛金の減少183百万円、たな卸資産の増加167百万円等による流動資産の増加228百万円、有形固定資産の増加19百万円等により41,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ237百万円増加しました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少387百万円、賞与引当金の減少340百万円、及び流動負債のその他の増加506百万円等により22,167百万円となり、前連結会計年度末に比べ54百万円減少しました。

純資産合計については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や期末配当の実施により18,951百万円となり、前連結会計年度末に比べ291百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績を踏まえ、平成27年4月28日に公表した当第2四半期連結累計期間の業績予想を下記の通り変更しております。なお、通期の業績予想につきましては今後見直しをする予定であり、見直しの結果、修正が必要と判断された場合には、速やかに開示いたします。

①当第2四半期連結累計期間の業績予想

売上高	19,620百万円（前回予想	20,370百万円）
営業利益	740百万円（前回予想	640百万円）
経常利益	780百万円（前回予想	640百万円）
親会社株主に帰属する 四半期純利益	640百万円（前回予想	550百万円）

②変更の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高は、特殊鋼セグメントや鑄鉄セグメントでの売上数量の減少等により当初予想より下回る見込みであります。一方、損益面では、原燃料価格が低い水準で推移していることなどから、特殊鋼セグメントを中心に年度当初の見通しを上回る見込みです。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	195	440
受取手形及び売掛金	7,761	7,578
製品	3,134	3,234
仕掛品	4,370	4,447
原材料及び貯蔵品	3,229	3,220
その他	895	894
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	19,576	19,804
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,635	6,632
土地	8,507	8,507
その他(純額)	4,162	4,184
有形固定資産合計	19,305	19,324
無形固定資産	106	99
投資その他の資産		
投資有価証券	1,025	1,057
その他	899	864
貸倒引当金	△30	△30
投資その他の資産合計	1,894	1,891
固定資産合計	21,306	21,315
資産合計	40,882	41,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,527	7,139
短期借入金	4,595	4,629
未払法人税等	93	119
賞与引当金	455	115
その他	3,362	3,868
流動負債合計	16,034	15,873
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,884	1,881
退職給付に係る負債	3,268	3,327
その他の引当金	109	109
その他	926	976
固定負債合計	6,188	6,294
負債合計	22,222	22,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	915	1,166
自己株式	△35	△36
株主資本合計	17,689	17,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	209
土地再評価差額金	1,220	1,222
退職給付に係る調整累計額	△438	△420
その他の包括利益累計額合計	970	1,011
純資産合計	18,659	18,951
負債純資産合計	40,882	41,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	10,045	9,867
売上原価	8,911	8,365
売上総利益	1,133	1,502
販売費及び一般管理費	952	952
営業利益	181	550
営業外収益		
受取配当金	22	33
受取賃貸料	10	17
助成金収入	6	0
その他	18	25
営業外収益合計	57	76
営業外費用		
支払利息	13	10
売上債権売却損	6	5
出向者人件費負担金	5	7
その他	7	11
営業外費用合計	33	33
経常利益	206	592
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産処分損	6	20
投資有価証券評価損	4	—
ゴルフ会員権売却損	—	10
特別損失合計	11	30
税金等調整前四半期純利益	194	562
法人税、住民税及び事業税	35	106
法人税等調整額	△161	△88
法人税等合計	△126	18
四半期純利益	320	543
親会社株主に帰属する四半期純利益	320	543

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	320	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	21
土地再評価差額金	—	2
退職給付に係る調整額	17	17
その他の包括利益合計	26	41
四半期包括利益	346	585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346	585
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,306	2,205	533	10,045	—	10,045
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	5	2	52	△52	—
計	7,351	2,211	535	10,097	△52	10,045
セグメント利益	80	86	14	181	—	181

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,268	2,083	515	9,867	—	9,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36	10	0	47	△47	—
計	7,305	2,094	515	9,915	△47	9,867
セグメント利益	416	115	18	550	—	550

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 第1四半期決算概要

平成27年7月29日
日本高周波鋼業株式会社

平成28年3月期 第1四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位：百万円、%)

摘要	当期 28年3月期 第1四半期	(対前年同期)		前年同期 27年3月期 第1四半期	通期予想 28年3月期
		増減額	増減率		
売上高	9,867	△ 177	△1.8%	10,045	41,650
営業利益	550	368	203.2%	181	1,450
経常利益	592	386	187.4%	206	1,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	543	222	69.4%	320	1,280
設備投資	421	143	51.8%	277	2,100
減価償却費	400	△0	△0.2%	401	1,650

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

【製品・サービス別】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	28年3月期第1四半期		27年3月期第1四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	7,268	416	7,306	80	△ 38	335
鋳鉄	2,083	115	2,205	86	△ 121	28
金型・工具	515	18	533	14	△ 17	4
計	9,867	550	10,045	181	△ 177	368

【海外売上高】

(単位：百万円、%)

	当 期		前年同期		(対前年同期)	
	28年3月期第1四半期		27年3月期第1四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	1,303	13.2%	1,296	12.9%	6	0.5%
その他の地域	22	0.2%	31	0.3%	△ 8	△27.2%
計	1,325	13.4%	1,327	13.2%	△ 1	△0.1%
連結売上高	9,867		10,045		△ 177	△1.8%

3. 経常利益増減益要因(前年同期比)

(単位：億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 原燃料価格下落	3	1. 売上数量減少	1
2. 販売価格改善(円安効果他)	1		
3. コスト改善他	1		
計 (A)	5	計 (B)	1
		差引 (A)-(B)	4